

# <<日本先進医療医師会からのお知らせ>> 未承認医薬品等安全性（不具合）報告システム の運用を開始しました

現在、本邦で行われている医薬品・医療機器等安全性情報報告制度は、日常、医療の現場においてみられる医薬品、医療機器又は再生医療等製品（以下、「医薬品等」という）の使用によって発生する健康被害等（副作用、感染症及び不具合）の情報を医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、医療関係者等が厚生労働大臣（PMDA）に報告する制度です。

しかしながら、未承認の医薬品等については、自由診療分野、ことに海外製造製品を医師個人輸入での入手が主で、症例報告も、不具合報告（所轄保健所に連絡することになっている）も公にされるケースが少なく、実態が十分に周知されていない現状です。

そこで、自由診療分野の医師で構成されている当医師会（JAMA）が受け皿となり、これらの情報を集約、データベース化し、検証、対策等を周知することによって安全性の確立に寄与する目的で運用しております。

報告された情報は、専門的観点から分析、評価され、必要な対策を講じるとともに、医療関係者に情報を提供し、医薬品等の安全対策の確保を図ってまいります。

未承認医薬品等を取り扱う医療機関等を対象とし、病院もしくは診療所の開設者又は医師、歯科医師、薬剤師その他病院等において医療に携わる者のうち業務上医薬品、医療機器又は再生医療等製品を取り扱う方が報告者になります。

未承認医薬品等製品の使用による副作用、感染症又は不具合の発生（医療機器及び再生医療等製品の場合は、健康被害が発生するおそれのある不具合も含む。）について、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止する観点から報告の必要があると判断した情報（症例）。

※ 医薬品、医療機器又は再生医療等製品との因果関係が必ずしも明確でない場合であっても報告をお願いします。

※ 海外製造医薬部外品及び化粧品についても、健康被害等の情報を知った場合にも報告をお願いします。

JAMAに報告された情報については、情報の整理、調査の結果、対策意見等をホームページにて公表し、必要に応じ厚生労働省に通知します。

一方、必要に応じ、当該医薬品、医療機器又は再生医療等製品を供給する製造販売業者等へ情報提供いたします。

JAMAは、報告を行った医療機関等に対し詳細調査を依頼、実施する場合があります。

また、報告された情報については、安全対策の一環として広く情報を公表することがありますが、その場合には、医療機関名・医師名及び患者のプライバシー等に関する部分は公表いたしません。

## 詳しくは、当医師会サイト

[http://jamamed.or.jp/safety\\_report/](http://jamamed.or.jp/safety_report/) をご覧ください。

## 特定認定再生医療等委員会が認定され、二種委員会審査を開始しました

8月23日 日本先進医療医師会特定認定再生医療等委員会（認定番号 NA8160004）が厚生労働大臣から認定され、

10月6日第1回委員会を開催しました。

今後継続して、第二種再生医療等提供計画の審査業務を実施してまいります。

新規に、細胞培養を伴う第二種再生医療を開始されるJASAS会員の先生は、提供開始までに必要な細胞培養加工施設届け出からの一連の手続きがございますので、ご遠慮なく事務局（03-6433-0845 info1@jamamed.or.jp）あてご相談ください。

日本美容外科学会専門医

2016年6月に実施した専門医認定試験の合格者は平田亮、伊藤哲郎、深野雄一郎、名倉俊輔、坂西寛信、高川裕也、谷川知子の7名であった（所属、敬称略）。

2016年  
10月31日(月)  
第020号  
一般社団法人 日本美容外科学会  
〒104-0061 東京都中央区銀座  
8-10-8 銀座8丁目10番ビル6階  
Tel.03-3571-1270



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY  
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会  
公式新聞

今月号の  
主なお知らせ

第104回日本美容外科学会報告  
第105回日本美容外科学会案内

# 第104回日本美容外科学会(JSAS)

【御礼とご報告】～日本から世界へ、そして世界から日本へ～

史上最高規模の盛会！

818名のご出席者、100超のご出展企業とともに

5月17日・18日の第104回日本美容外科学会から早くも5か月、国内外からご参加いただいた医師の皆様、開催にあたり多大なサポートをいただいた関係者皆様に、改めて心より御礼を申し上げます。設立50周年という節目での開催にあたり私が掲げた目標は、「日本における美容医療のゴールドスタンダードを安定させ、その先にあるエキスパートを追求する」でした。「ゴールドスタンダード」が日常の診療で常に遭遇する治療内容であり、それを充実させるための内容が、今回プログラムにも組み込んだライブサージャリーやシンポジウムでした。そして、「エキスパート」は、著名な海外の先生方のレクチャーであり、日本における美容外科および美容皮膚科のエキスパートの先生方のセッションでした。

以下、各方面より届いたお声とともに簡単にご紹介させていただきます。

特別招待講演を始めとする海外医師陣によるセッションには、大きな反響がありました。

- ・「コールマンテクニックの理論的裏付けをあらためて聞くことができ、非常に勉強になりました。」
- ・「KCCSのセッションは非常に実践的で、発表慣れされている様子。美容外科医はこういうのを聞きたかった、と感じたはず。韓国レベルの高さを再認識しました。」
- また、入念に準備を重ねたライブサージャリーや、あえて治療の長所と短所を際立たせる狙いで企画したVS形式のシンポジウムなど、実践的講義に対する関心は非常に高かったようです。
- ・「ライブサージャリーを学会場と外部でやり取りしながら行うスタイルは、日本の美容外科学会では画期的だったと思います。」
- ・「内容が濃く、色々な施術法を比較で見ることがメリット・デメリットがよくわかりました。治療法の提案に実践したいと思う。」
- ・「発表をさせていただきましたが、今まで聞いたことのない大きな拍手をいただき、反響の大きさに驚きました。」

お陰様でJSAS史上最高数といわれる818名の医師・医療関係者様に参加いただき、100を超える企業出展ブースも参加者による賑わいを見せていました。第104回のテーマ「日本から世界へ、そして世界から日本へ」に掲げた通り、韓国、中国、ベトナム、タイといったアジア近隣国を始め、欧米各国医師からも講演をいただきました。国外からの参加者も多く、「国際学会並みの規模」とのお声もいただきました。学会はそこに参加する方々にとって有意義であることが使命だと思っています。そういう意味では今回の学会長の任務を果たせたことに満足しています。

## 「日本から世界へ」。未来へ向けた、一步に

また、第104回で「日本から世界へ」を課した私が、その想いを自ら果たすことのできた出来事を、この場を借りてご報告させていただきます。この度、私が統括院長を務める聖心美容クリニックにおいて、2007年より研究・治療を開始し、症例を重ねてきたPRP療法に関する学術論文(※)が、世界最高権威として知られる形成外科学誌「PRS(Plastic and Reconstructive Surgery)」において、「Best Paper Award 2016」を受賞いたしました。9月に開催された授賞式(米・ロサンゼルス/アメリカ形成外科学会(ASPS)内)に向き、自ら荣誉あるその賞を受け取ってまいりました。この賞は日本人美容外科医では、史上初とのこと。かねてより、質の高い優れた医療を提供したい、という一心で取り組んできた治療法だからこそ、広く世界へ向けて発信したいと挑戦した結果が、このような荣誉につながり大変光栄です。そしてこうした一歩こそ、さらなる美容医療の未来につながっていくのだと信じています。

(※)「Platelet-Rich Plasma with Basic Fibroblast Growth Factor for Treatment of Wrinkles and Depressed Areas of the Skin / 線維芽細胞増殖因子を添加した多血小板血漿によるシワおよびくぼみ治療」

第104回JSASでは、私自身の日頃からの想いを具現化できるよう、一貫した信念をもって取り組んでまいりました。そして今、この貴重な経験をもとに、新たな課題・構想も多々巡らせていますが、私なりにできることを思索し、尽力し続ける所存です。美容医療の限りない発展へ向けて、多くの方々とともに歩んでまいります。続く第105回JSASもよろしく願いいたします。

## <お知らせ>

### 「IMCAS World Congress 2017」パリで開催

日本美容外科学会と提携している世界最大級の美容医療学会 IMCAS (International Master Course on Aging Science) の本大会「IMCAS World Congress 2017」が以下の要領で開催されます。カダバーセッション(※)の他、日本美容外科学会会員による講演も予定しております。

- 会期：2017年1月26日(木)～29日(日)
  - 会場：フランス、パリ17区「Palais des Congrès」
  - 詳細、申込みはこちら(英語)：http://www.imcas.com/en/attend/imcas-world-congress-2017
- ※ 日本へのライブ中継は予定していません。



第104回日本美容外科学会  
学会長 鎌倉 達郎  
(聖心美容クリニック 統括院長)



# 第105回日本美容外科学会のご案内

このたび、第105回日本美容外科学会（JSAS）の会長を務めさせて頂くにあたり、ご挨拶申し上げます。

## 第105回日本美容外科学会は、 2017年5月16日（火）、17日（水）

### ANAインターコンチネンタルホテル東京

にて開催いたします。

日本美容外科学会（JSAS）は、研究会の時代から、広く美容医療をとらえて、診療科を問わず、美容医療に関連する医師達が幅広く参加してきました。

第105回の学会においても、美容外科だけでなく、形成外科、美容皮膚科、美容内科系の先生方にも参加していただき、それぞれの専門分野においてのシンポジウムや講演を予定しています。

また、美容外科の分野では、ビデオ供覧を中心にして、手術方法や工夫につきまして発表して頂く予定です。

この学会では、昨今の美容医療の情勢から「信頼される美容医療を目指して」というテーマを掲げています。

信頼される美容医療とは何かと考えますと、誠実な患者対応が基本である事は言うまでもありませんが、学会等にも参加し、危機管理や新しい技術等を習得し、より安全に求められる結果を出す事と考えています。

そのためにも、この学会において、新しい知見や普段経験できない症例に触れて頂き、見聞を広げる好機としてください。

また、現在、広く一般演題を募集しています。

日々の臨床における経験を発表して頂けると幸いです。

東京の5月は春爛漫の良い季節ですし、学会場も交通至便の場所にあります。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

#### ◆ 演題募集要項（全て日本語・英語を併記してください）

##### 抄録提出期限：2016年12月31日（一次募集締切）

1. 発表者氏名（ふりがな）
2. 医療機関名
3. 医療機関所在地
4. 演題名
5. 抄録
6. 連絡先住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス

※ 1から5は学会の前に発送されるプログラム・抄録集に掲載されます。※共同発表の場合には、演者名に下線を付してください。

※ 演題発表の申込みは、学会の参加登録をした場合に限り受け付けます。

※ 使用機材：コンピュータプレゼンテーションのみ可能。データをUSBメモリまたはCD、DVD等に入れてお持ち下さい。

演者発表時間：10分（演題発表の7分、前演者との交代時間 & 質疑応答等の時間として3分設けます）

#### ◆ 参加申込み

別紙の参加申込書に必要事項記入の上、

**2017年3月31日までに** FAX またはメールにてお申込み、学会参加費をお振込みください。

※ 学会参加費：2017年3月31日までに**お振込み**ください。



第105回日本美容外科学会  
会長 森上和樹（城本クリニック）

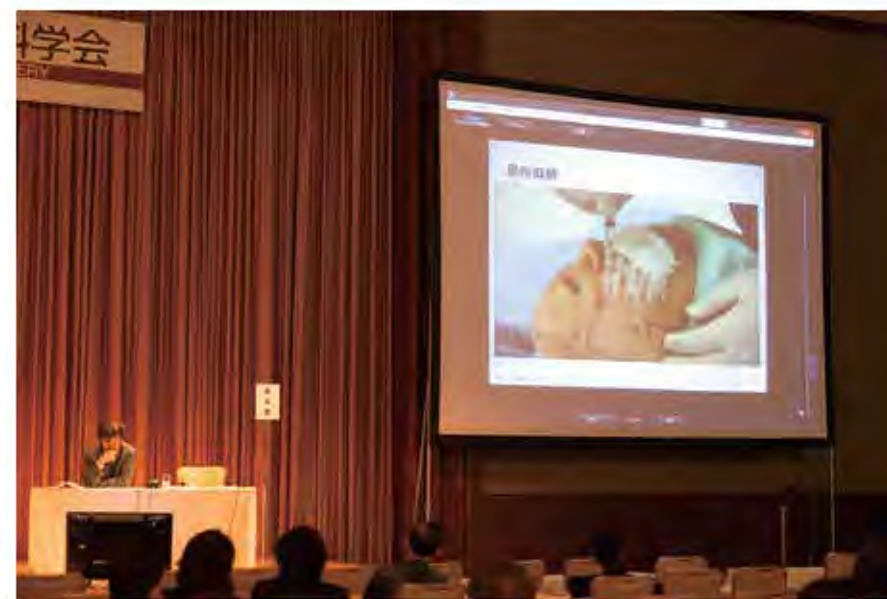
# 第104回日本美容外科学会(JSAS)写真



▲高名ドクターの貴重な講演に聞き入る多くの出席者



▲メインブース以外に特別出展フロアを設け、より近い距離での情報交換を可能に



▲学会場と執刀現場をつなぐライブサージェリーは活気にあふれた時間に



▲次期学会会長委嘱式。城本クリニック総院長 森上和樹先生へ委嘱状が授与



▲実践的セッションとして多くの関心を集めたシンポジウム



▲学会長主催のパーティ。鏡開きでスタート。

